

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2013年3月号 (No. 51)

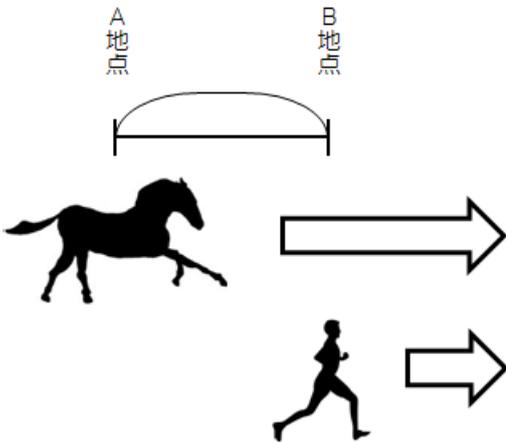
平井会計事務所 税理士 平井満広
〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1
芝浦アイランドエアタワー1704号
電話:03-3452-7082 Fax:03-6303-3350
Mail:m_hirai@hirai-ao.com
URL:<http://www.hirai-ao.com/>

ウマがヒトに追いつけない？ 議論のミスリードを防ぐ方法は

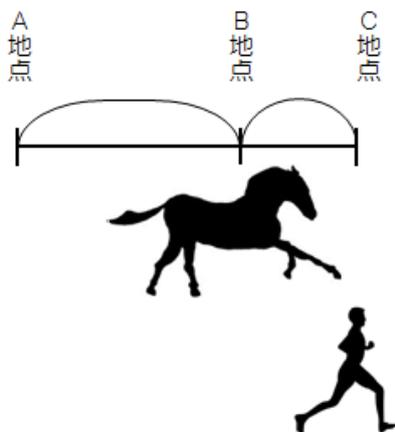
会議で議論をしていると、論理的には正しく思えても実は誤った結論を導いている場合があります。イメージをしやすいするために事例で考えてみましょう。

◆ウマとヒトの競走

ウマとヒトが競走することになりました。ウマの方が脚が速いのでハンデとしてヒトのスタート地点を少し前(B地点)にします。この条件で、はたしてウマはヒトに追いつくでしょうか？

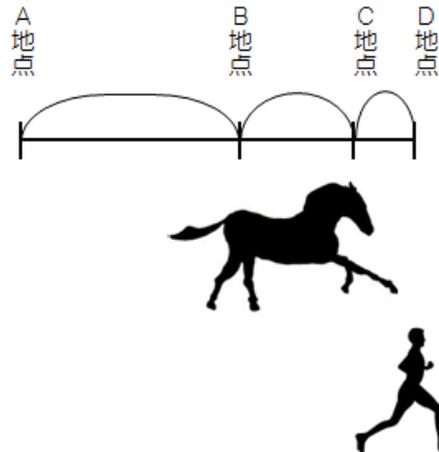


スタートからあつという間にウマはヒトのスタート地点(B地点)に到達しました。さすがの脚力です。ところがその間にヒトはC地点に到達していました。まだウマはヒトに追いつかないようです。



その後、すぐにウマはC地点に到達しました。ところがまたしても、ヒトは先に移動(D地点)していました。

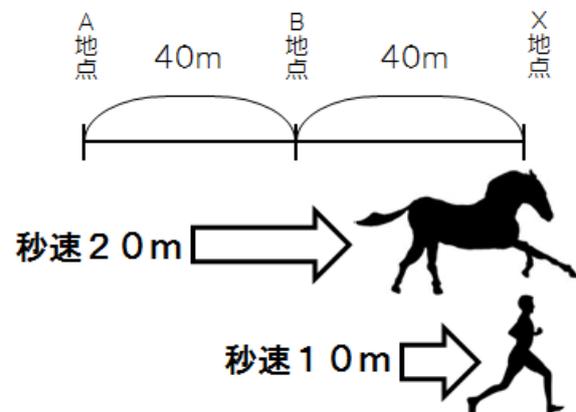
☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/



この考え方を繰り返すと「ウマがD地点に到達する間にヒトはE地点に」、「ウマがE地点に到達する間にヒトはF地点に」…となってしまい『ウマは永遠にヒトに追いつけない』という“誤った”結論になってしまいます。

◆数字で考える

このようなミスリードを防ぐためには、議論するさいに「具体的な数字で考える」というのがひとつの方法です。事例の場合だとウマの速度を「秒速20m」、ヒトの速度を「秒速10m」、ハンデを「40m」などの数字で表すと、スタートから4秒後に、B地点から40mの地点(X地点)で追いつくことがわかります。



ビジネスの会議でも、あいまいに議論すると結論を誤る可能性があるため、経営数字で考えることが大切です。

※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。ご不要の場合はご連絡ください。